



エコフラット® 70

塗料中に揮発性有機化合物 (VOC) をほとんど含まない、JIS K 5663 1種合格の環境配慮形合成樹脂エマルジョンペイントです。

| 防火材料認定番号 | 品目名 |
|----------|------------|
| NM-8585 | 塗料塗装/不燃材料 |
| QM-9816 | 塗料塗装/準不燃材料 |
| RM-9364 | 塗料塗装/難燃材料 |

| | |
|------------------|-------|
| ホルムアルデヒド 放散等級 | F☆☆☆☆ |
|------------------|-------|

本製品には当社工場にて製造もしくは調色した JIS 表示品と店頭にて調色していただくための JIS 非表示品があります。JIS 表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

■特長 ※オプションで防藻・防かび機能を付与できます。

①超低 VOC

塗装後の VOC 放出量がほとんどありません。

②超低臭気

臭気成分もゼロに近づけたため、非常に低臭です。

■用途

マンション・教育施設・商業施設など VOC・臭気対策が求められる建物内部壁面に最適

③高作業性

仕上り性、かぶり(隠ぺい性)、タッチアップ性(補修性)がすぐれています。

④下地適応性

当社製品の「ニッペ水性カチオンシーラー」「ニッペ水性シミ止めシーラーⅡ」との組み合わせで下地適応が広がります。

■適用下地

コンクリート・モルタル・プラスターボード

※ JIS K 5663 1種 (主として屋外用) の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。

■標準塗装仕様

●新設

| 塗装工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 | |
|------|---|------|-------------------------------|---------------------------|-------|--------|------------|------------|
| 素地調整 | ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | | | | |
| 下塗り | ニッペ水性カチオンシーラー | 透明 | 1 | 0.10 ~ 0.16 ^{注)} | 4時間以上 | 無希釈 | — | はけ、ウールローラー |
| | | ホワイト | | | | 水道水 | | |
| 上塗り | エコフラット70 | 2 | 0.12 ~ 0.14 ^{注)} | 2時間以上 | 水道水 | 5 ~ 10 | はけ、ウールローラー | |
| | | | 0.13 ~ 0.15 ^{注)} | | | 5 ~ 15 | | エアレススプレー |

※下塗りには、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラーも使用できます。

●塗り替え(旧塗膜・塩化ビニールクロス面)

| 塗装工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 |
|------|---|------|-------------------------------|-------------------|-----|--------|------------|
| 下地調整 | 旧塗膜・塩化ビニールクロスなどのめくれ、浮き、はがれなどは十分に補修し、汚れ、ゴミなどの付着阻害物は、中性洗剤やペーパーなどで除去し、水拭き後乾燥した清浄な面とする。 | | | | | | |
| 下塗り | ニッペ水性シミ止めシーラーⅡ | 1 | 0.11 ~ 0.13 ^{注)} | 4時間以上 | 水道水 | 0 ~ 5 | はけ、ウールローラー |
| 上塗り | エコフラット70 | 2 | 0.12 ~ 0.14 ^{注)} | 2時間以上 | 水道水 | 5 ~ 10 | はけ、ウールローラー |
| | | | 0.13 ~ 0.15 ^{注)} | | | 5 ~ 15 | |

※下塗りには、水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)も使用できます。(下地が旧塗膜の場合)

注)

■「ニッペ水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)」の塗り付け量は0.09kg/m²/回です。 ■「エコフラット70」の塗り付け量は0.10kg/m²/回です。 ■「ニッペ水性シミ止めシーラーⅡ」の塗り付け量は0.09kg/m²/回です。 ■使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ■塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量 ■風化面、吸込み面の著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。 ■カタログに記載されている内容は、一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

※上記の数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。



エコフラット® 70

塗り重ね乾燥時間

| | 5～10℃ | 23℃ | 30℃ |
|--------|-------|-------|-------|
| 塗り重ね乾燥 | 5時間以上 | 2時間以上 | 1時間以上 |

乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

容量・荷姿

| | |
|-----|-----------------|
| 塗料名 | エコフラット 70 |
| 系 統 | 室内環境配慮形水性つや消し塗料 |
| 容 量 | 20kg |
| 色 相 | 各色 |
| つ や | つや消し |



塗膜性能

| 試験項目 | 規格 | JIS K 5663 1種 |
|--------------|---|---------------|
| 容器の中での状態 | かき混ぜた時、堅い塊がなく一様になるものとする。 | 合格 |
| 塗装作業性 | 2回塗り、塗装作業に支障があってはならない。 | 合格 |
| 低温安定性(-5℃) | 変質してはならない。 | 合格 |
| 乾燥時間(h) | 標準状態：2以下 / 5℃：4以下 | 合格 |
| 塗膜の外観 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 | 合格 |
| 隠ぺい率%(白及び淡彩) | 93以上 | 97 |
| 耐水性 | 96時間浸したとき異常がないものとする。 | 合格 |
| 耐アルカリ性 | 48時間浸したとき異常がないものとする。 | 合格 |
| 耐洗浄性 | 500回の洗浄に耐えるものとする。 | 合格 |
| 促進耐候性 | 白亜化の等級は1以下で、彫れ、はがれ及び割れがなく、色の变化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。 | 合格 |
| 屋外暴露耐候性 | 12ヶ月間の試験で塗膜に彫れ、はがれ及び割れがなく、色の变化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。 | 合格 |
| TVOC | 標準圧力で、沸点または開始点が、250℃以下の化学物質量が、1%以下であること。(日本塗料工業会の室内用建築用塗料の目標基準) | 合格 |
| 臭気 | 従来品と比べ、極めて少ないこと。(社内規格) | 合格 |

■施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

| | |
|---|--|
| 1. 防塵・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。 | 25. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。 |
| 2. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水含量が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。 | 26. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。 |
| 3. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合、低温、高湿度、通風の無い場合には、彫れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。 | 27. 塗装時および塗装後に密閉しやすく乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。 |
| 4. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。 | 28. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。 |
| 5. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。 | 29. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。 |
| 6. スプレーノズルの先端は、ときどき水拭きをしてください。作業率の低下および塗りむらの原因になります。 | 30. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、彫れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。 |
| 7. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着することがありますが、時間とともになくなります。 | 31. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。 |
| 8. 動物はけは、はがりが回ったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。 | 32. 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等をご確認ください。 |
| 9. JIS K 5663 1種 (主として屋外用) の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。 | 33. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。 |
| 10. 濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。 | 34. 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により密着するよう箇所を使用する場合は、ファイナッシュコンプレックスクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。 |
| 11. 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。 | 35. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。 |
| 12. 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りで仕上がり感が異なります。 | 36. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。 |
| 13. つや有り仕上げを塗る場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。 | 37. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。 |
| 14. 縦壁、耐火被覆用耐火カルシウム板、ロックワールなどの非常にせいの素材には塗装できません。 | 38. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。 |
| 15. 吸音板塗る替え用断材(シールマットⅡなど)の塗り替えには使用できません。 | 39. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。 |
| 16. 水点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。 | 40. 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工された水をはじくクロス)には塗装できません。塩化ビニルクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。 |
| 17. 旧塗膜に発生した塵・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおそれがあります。 | 41. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用で使ってください。 |
| 18. 外部の壁面・吸込みの着しい下地では、ニッパ液浸透シーラー(新)、ニッパ液浸透シーラー、ニッパフライン浸透シーラーをご使用ください。 | 42. 可塑剤が多く含まれる塩化ビニル鋼板、塩化ビニルシート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩化ビニルクロスなどの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。 |
| 19. やがに著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。 | 43. 塗料は内容物が均一になるようにかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。 |
| 20. 下地にタタコや汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。 | 44. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵所で保存し、速やかに使い切ってください。 |
| 21. 塩化ビニルクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスは接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスは含ませ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。 | 45. 塗料汚濁の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。 |
| 22. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製 CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製 H1500シリーズ: コクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。 | 46. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 |
| 23. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。 | |
| 24. 外部では素材にセメント成分などが使用されている場合は、エポキシ樹脂が発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。 | |

■安全衛生上の注意事項

| エコフラット70白 | | 横倒禁止 |
|---|--|------|
| 1. 本来の用途以外に使用しないでください。 | 14. 直射日光や水濡れは厳禁です。 | |
| 2. 使用前に取扱説明書を入力してください。 | 15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 | |
| 3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 | 16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。 | |
| 4. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。 | 17. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(荷重重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) | |
| 5. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください | 18. 内容物/容器を固/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 | |
| 6. 口をすずいでください。 | 19. 容器、塗料などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込む、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 | |
| 7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 | | |
| 8. 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。 | | |
| 9. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 | | |
| 10. 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを装着して外してください。その後洗浄を続けてください。 | | |
| 11. ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。 | | |
| 12. 眼の刺激が続く場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。 | | |
| 13. 施設して保管してください。 | | |
| | ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。 ■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください | |
| 危険 | 危険有害性情報 | |
|   | 強い眼刺激 / 発がんのおそれ | |

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本カタログの製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2016 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-U025

UD160608T

2016年6月作成